2026年 2月期·Q2

決算説明会資料 2026年 2月期

October  $15^{th}$ , 2025

東証プライム 7599 IDOM Inc.





### おことわり

IDOMの開示資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績などが変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、IDOMの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、相場の影響などがあります。また、この資料に含まれている情報は、広告宣伝、アドバイスを目的としているものではありません。

# 目次



1.	2026年 2月期 上期の実績	4
2.	2026年 2月期 上期の取り組み	15
3.	APPENDIX	27
4.	APPENDIX(業績・財務の補足情報)	48



1. 2026年 2月期 上期の実績

### 2026年2月期 上期のハイライト





•前期からの中古車相場の下落に対応に時間を要し前年同期比16%の減少。



- •前期末に抱えた長期在庫処分の影響により低調。
- •8月単月では目標水準まで回復。



- •前年同期比+11%と大きく増加。
- •上期として過去最大の小売台数を記録。

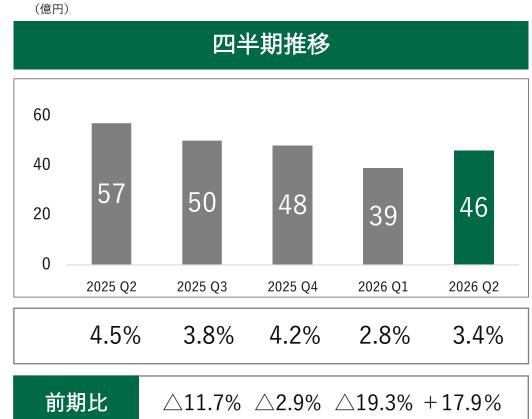
#### 2026年2月期の営業利益の推移





(億円)





# 営業利益率

前年同期比

- △17.6% +42.1% △15.7%

3.5%

4.0%

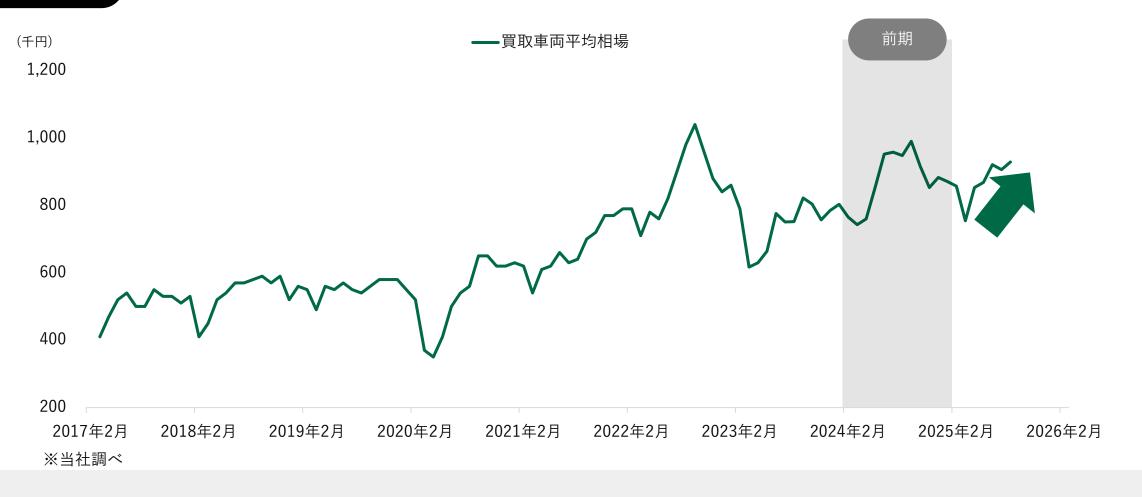
3.1%

3.8%

相場

## 中古車相場の推移



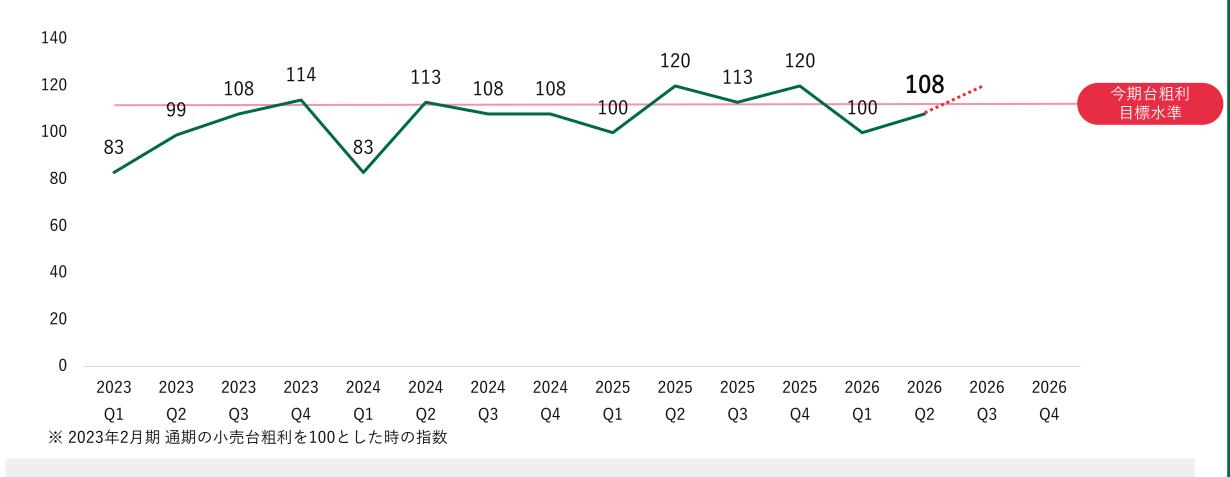


中古車相場に関して、前期末からの大幅下落は上昇へ転換。足元(9月以降)も続伸。

#### ハイライト

#### 小売台粗利の推移





長期在庫処分の影響が残り目標水準より下に着地。 3月から8月にかけて改善。8月単月では既に期初の目標水準を超過達成。 ハイライト

## 2026年2月期 上期 主要KPI



		2024 上期	2025 上期	2026 上期	増減差
店舗数	大型店出店数(店舗)	0	1	8	+7
小売	小売台数(千台)	73.8	75.9	84.2	+8.3
טעיוני	小売台粗利 (2023を100とした時の指数)	100	110	103	-
卸売	卸売台数(千台)	62.1	76.7	74.8	△1.9
<u> 下</u> に	卸売台粗利 (2023を100とした時の指数)	100	120	100	-

出店は計画通り順調に進捗。小売台数は過去最高を記録。

連結

# 2026年2月期 上期 P/L実績



(億円)	2025	2026	売上高構成比	増減差	増減率
売上高	2,497	2,731	100.0%	+234	+9.4%
売上総利益	443	448	16.4%	+5	+1.2%
販管費	342	363	13.3%	+21	+6.2%
営業利益	101	85	3.1%	△16	△15.7%
経常利益	96	78	2.8%	△18	△19.2%
親会社株主に帰属する 中間純利益	65	52	1.9%	△13	△20.4%
EBITDA%1	125	104	3.8%	△21	△16.9%

※1 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

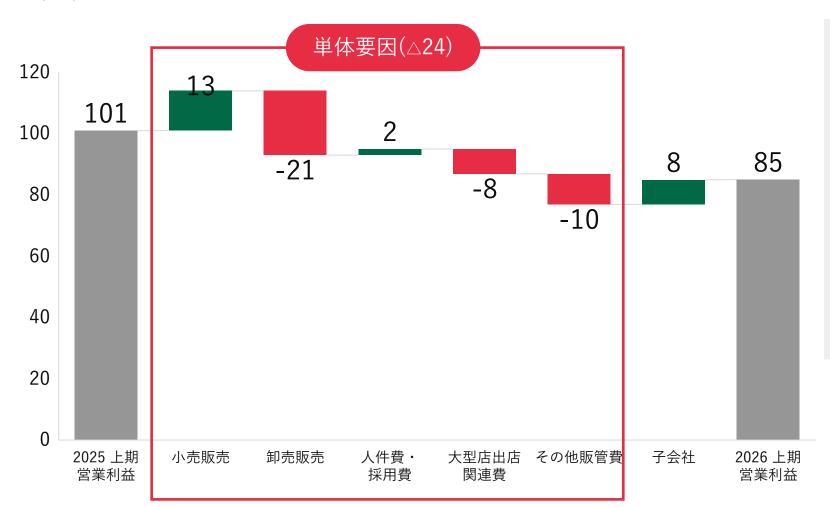
**IDOM InC.** ※「2026」表記は、2026年2月期を示す。

#### 連結

### 2026年2月期 上期 営業利益の前期比増減要因



(億円)

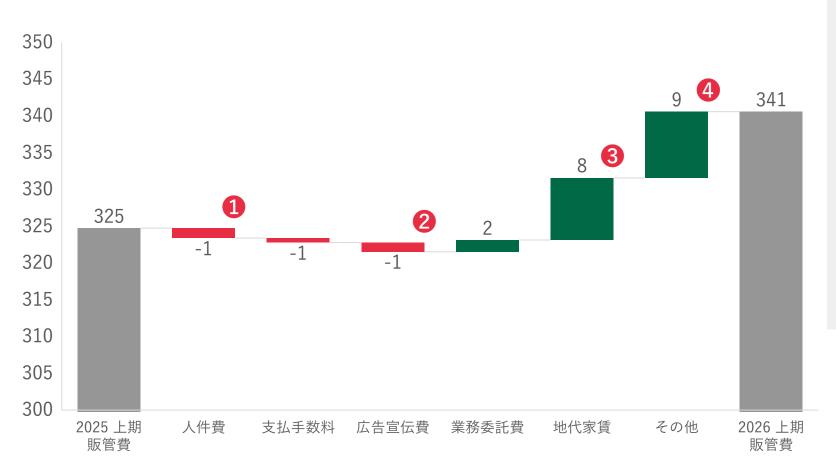


- ◆ 小売は小売台数の増加により +13億円。
- 卸売は相場の下落により台粗利 が減少し△21億円。
- 販管費は店舗数の増加に伴い拡大。
- 子会社はIDOM CaaS Technology社が黒字化。

## 2026年2月期 上期 販管費の前期比の増減分析



(億円)

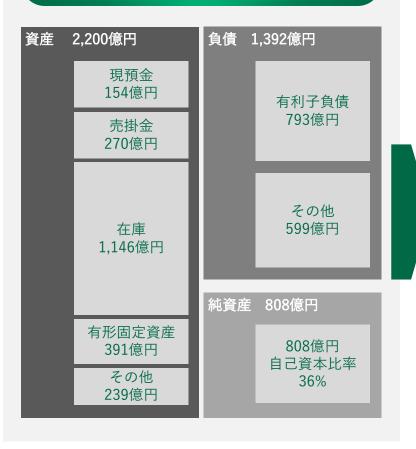


- 1 人員数は平均247人増、単価が約0.3万円減少。
- ② 広告宣伝費は効率化し減少。
- ③ 昨年対比大型店+23店舗増加に よる地代家賃の増加。
- 4 事業拡大による備品や交通費の 増加、じしゃロンの売上増加に 伴う貸倒引当金。

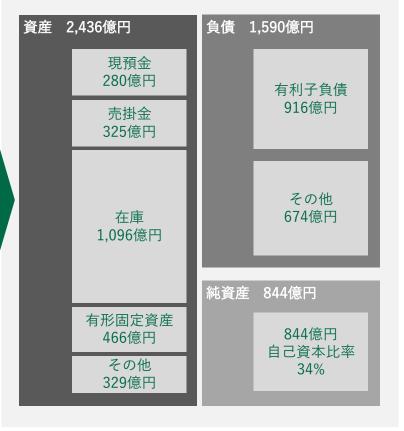
#### B/Sサマリー



#### 連結・貸借対照表 (2025年2月期末)



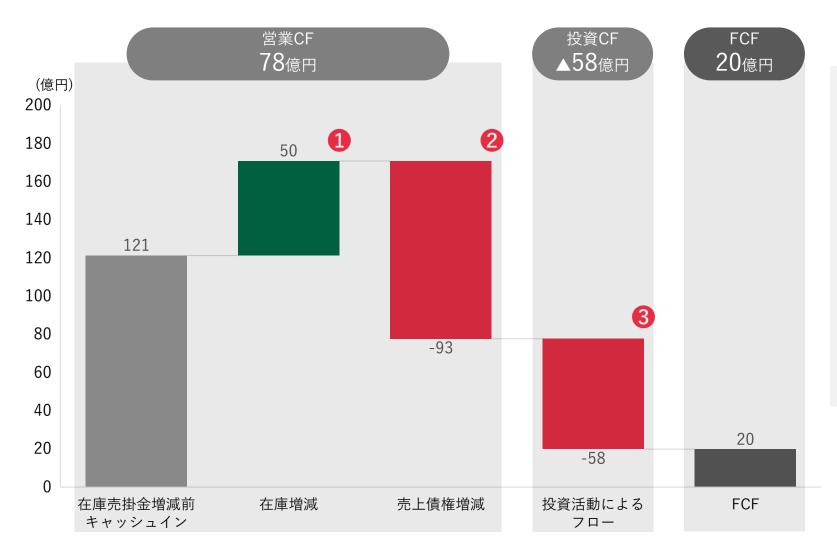
#### 連結・貸借対照表 (2026年2月期 上期末)



- 総資産は2,436億円(+235億)。
- 売掛金の増加は主に割賦売掛金 の増加による(+55億円)
- 在庫の減少要因は、相場上昇による単価の増加(+30億円)はあるものの、台数減少(△80億円)による。大型店を出店しながらも在庫の適正化を実施。
- 有利子負債はグロスで増加するが(+123億円)、ネットで減少(△3億円)。また短期から長期への組み換えを実施し財務安定化を企図。
- 連結自己資本比率は34%。

### キャッシュフローの増減分析





- ① 在庫台数の減少により+50億円。
- ② 割賦債権の増加により△93億円。 Q3に割賦売掛金の流動化の実施 予定。FCFの改善を企図。
- ③ 大型店出店及び整備工場などに 58億円を投資。

結果、FCFは+20億円



2. 2026年 2月期 の取り組み

#### 大型店

#### 新規OPENした大型店





守山店(2025年8月オープン)

愛知県名古屋市

#### 直近の店舗展開

#### 【Q2新規大型店オープン】

- ・岡崎店 (2025年6月)
- ・枚方店(2025年7月)
- ・茨木店(2025年8月)
- ・守山店 (2025年8月)
- ・広島インター店(2025年8月)
- ・ひたち海浜公園前店(2025年8月)

通期進捗

8/15 店舗

大型店舗数(2025年8月末現在)

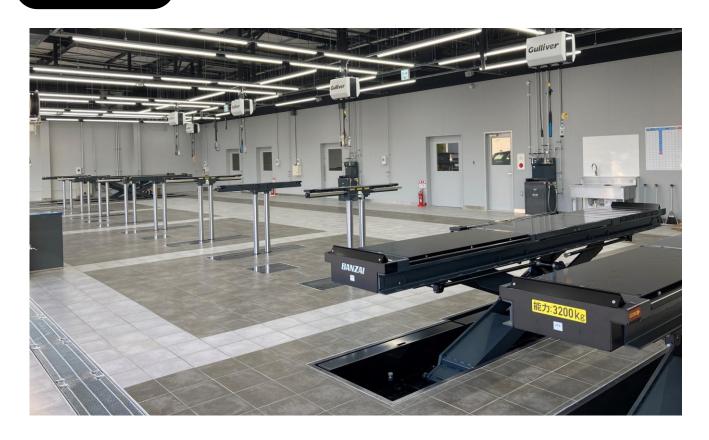
77 店舗

(2025年8月末現在)

工場

### 新規OPENした整備工場





岡崎整備工場(2025年6月オープン)

愛知県岡崎市

#### 直近の店舗展開

【 Q2新規整備工場オープン】

- ・岡崎整備工場(2025年6月)
- ・枚方整備工場(2025年7月)

通期進捗

3/9 店舗

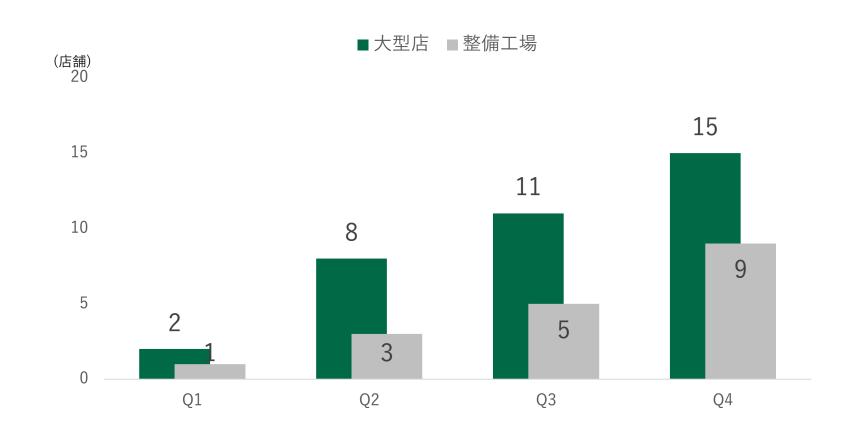
整備工場数

42 工場

うち28工場が 指定工場取得済み

### 2026年2月期の大型店出店推移



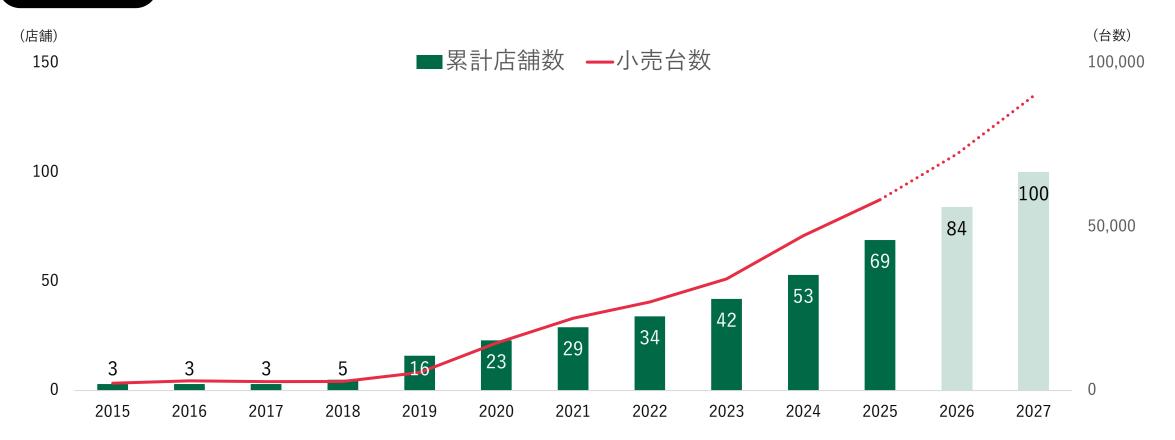


今期計画の15店舗に向けて、下期出店分も順調に出店準備が進行中。

#### 大型店

### 大型店の店舗数と小売台数の推移



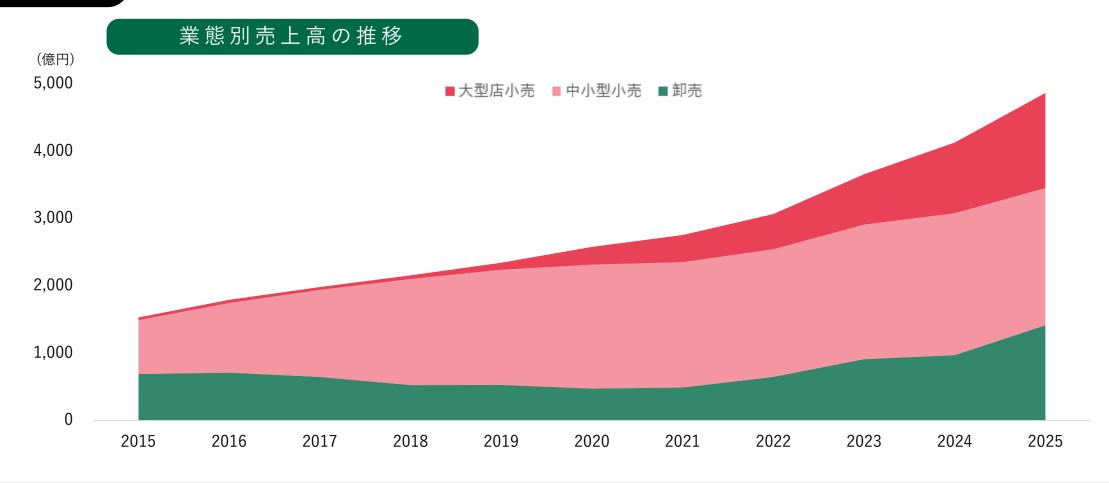


小売事業の主軸として2027年2月期の100店舗に向けて拡大中。

#### 大型店

#### 大型店が安定成長のドライバー

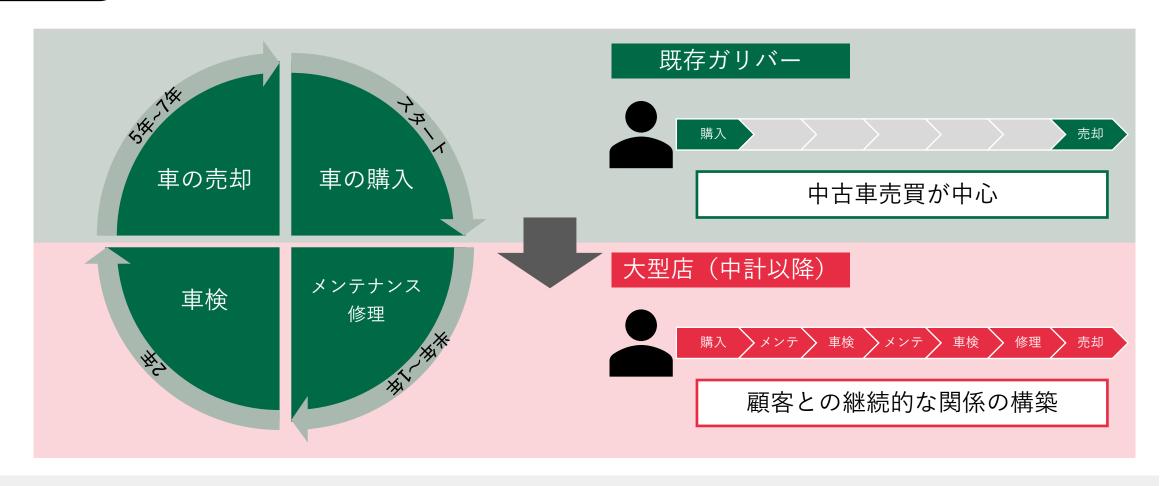




大型店の出店、そして小売増加による成長基盤の整備と着実な成長。

### 大型店による成長戦略の考え方

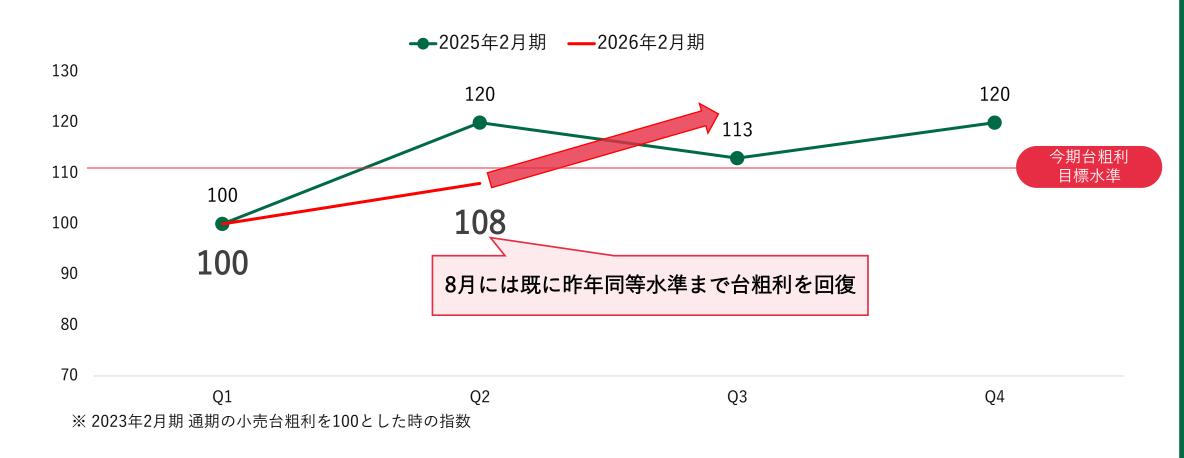




整備工場併設大型店はお客様とのタッチポイントが大幅に増加。 5~7年と言われる長い中古車乗り換えに向けてリピート集客効果が増加。

#### 下期小売台粗利の想定





在庫の処分は順調に進捗。8月には目標水準以上へ小売台粗利を達成。 下期に向けて在庫管理・運用を強化しコントロールを継続。 業績予想

# 2026年2月期 業績予想修正の前提



		上期当初予想	上期実績	上期進捗	下期	通期修正予想
店舗	大型店出店数(店舗)	8	8	想定通り	7	15
小売	小売台数(千台)	83.4	84.2	想定通り	83.1	167.3
/J\96	小売台粗利 (2023を100とした時の指数)	112	103	要改善	118	111
卸売	卸売台数(千台)	77.2	74.8	想定通り	75.2	145.0
正わりに	卸売台粗利 (2023を100とした時の指数)	120	100	要改善	118	108
	   売上総利益(億円) 	464	448	要改善	503	951
連結 PL	販管費(億円)	345	363	要改善	387	750
	営業利益(億円)	119	85	要改善	116	201



# 2026年2月期 連結 通期予想の変更



(億円)	2025実績	2026	売上高構成比	増減差	増減率
売上高	4,967	5,468	100.0%	+501	10.1%
売上総利益	887	951	17.4%	+64	7.2%
販管費	688	750	13.7%	+62	9.0%
営業利益	199	201	3.7%	+2	1.0%
経常利益	191	189	3.5%	△2	△1.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	134	125	2.3%	△9	△6.7%

配当方針

### 配当金について



配当方針

業績連動型配当

配当決定方法

当期の親会社株主に帰属する連結当期純利益×30%を計算し、 当期の配当金額を決定する。 (2023年2月期末から変更)

1株当たりの配当金の状況

	第2四半期末	期末	合計
2025年2月期 (実績)	19.38円	20.80円	40.18円
2026年2月期 (予想)	15.43円	21.92円	37.35円







連結

# 2026年2月期 P/L四半期実績



(億円)	2025 Q1	2025 Q2	2025 Q3	2025 Q4	2026 Q1	2026 Q2	前四半期 比
売上高	1,246	1,251	1,309	1,162	1,385	1,346	△39
売上総利益	215	228	223	221	223	226	+3
販管費	171	171	173	173	184	180	△4
営業利益	44	56	50	48	39	46	+7
経常利益	43	53	49	45	36	42	+6
親会社株主に帰属する 四半期純利益	29	36	33	36	23	29	+6

## 中期経営計画の上方修正(2024年4月)





営業利益の目標を210億円から300億円へ上方修正。

#### 中期経営計画達成に向けて



2027 継続的な 付帯商品の開発

小売台粗利 維持



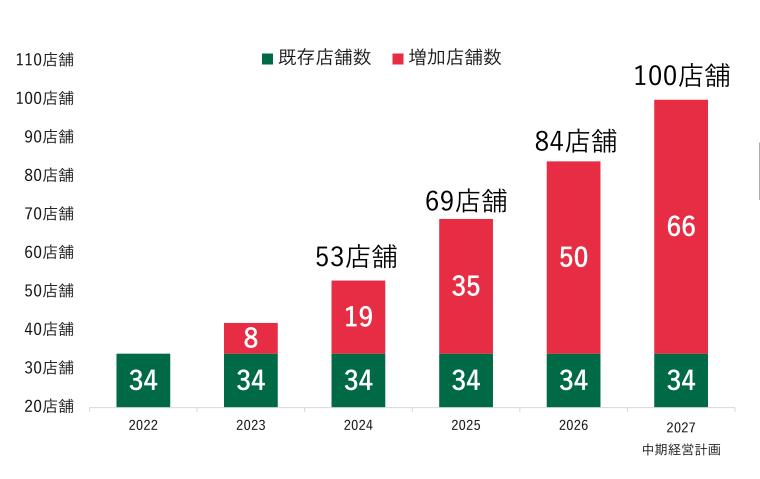
2027 大型店 100店舗

小売台数 増加

2024年2月期下期の小売台粗利水準の維持と、 出店加速による小売台数の増加から当初計画を上回る目標を実現。

## 出店の加速(大型店100店舗へ)





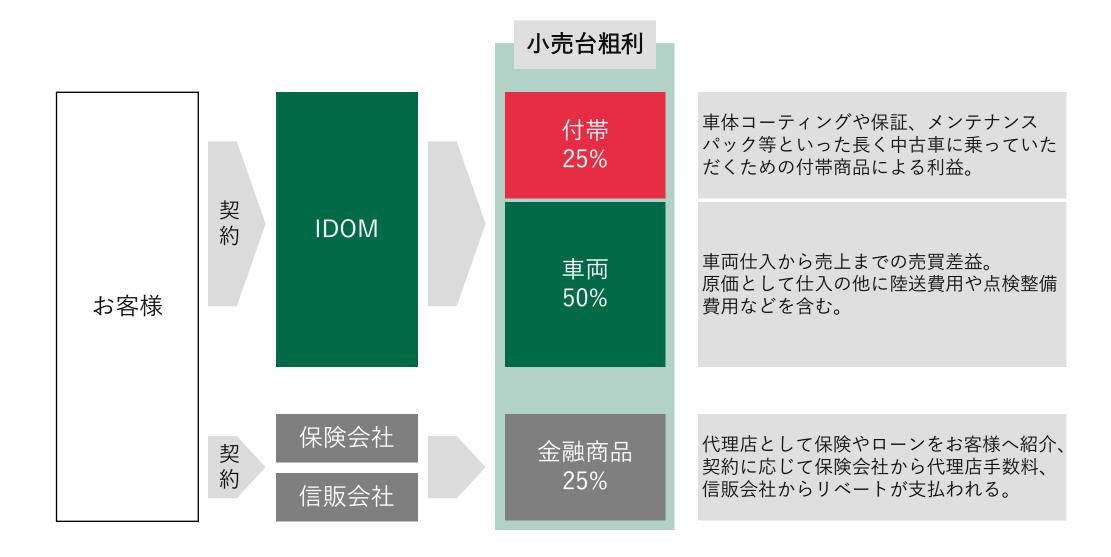


#### 設備投資の前提と方針

種類	設備投資	今後の方針
大型店	3億円	積極出店
整備工場	2億円	積極出店

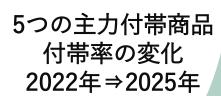
#### 小売台粗利の構成に関して





### 付帯商品の開発(2025年2月期実績)







コーティング 37%⇒52%



メンテナンスパック 12%⇒33%



長期性能保証 15%⇒40%



ローン 33%⇒30%

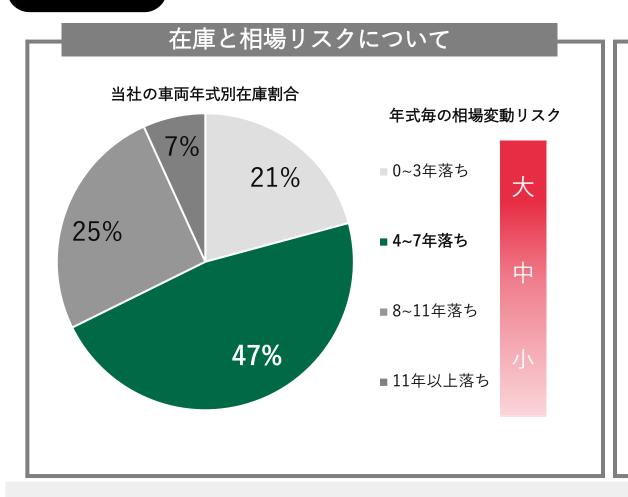


保険 19%⇒21% 安心して乗り続けられる ワンストップサービス の提供

アフターサービスを通じてお客様の利用機会を増やしていく。

### 在庫管理に関して





#### 在庫車両のリスク特性

#### 卸売車両

- オークション市場への売却 のため、相場の影響を比較 的受けやすい。
- 仕入れてからオークション 市場で売り上げるまで原則2 週間。
- 買取店の強化はしておらず 現状維持。

#### 小売車両

- お客さまへの売却のため、相場の影響を比較的受けにくい。
- ▶ 120日を超える長期在庫のみ 在庫処分の実施を検討。
- 大型店の拡大とともに小売 り車両の割合は増加。

- 常に相場の影響を受けるため長期保有することはリスクが大きい。
- 卸売比率が上昇すると在庫 回転日数が短縮する傾向。
- 長期保有しても付帯粗利に より台粗利が担保され在庫 リスクが少ない。
- 小売比率が上昇すると在庫 回転日数が増加する傾向。

大型店の在庫は相場の影響を比較的受けにくい4~7年落ちで多くが構成されている。 小売台数の拡大に伴い在庫回転日数が縮まりにくいことは受け入れ適正な在庫管理を実行。

#### 在庫 在庫回

### 在庫回転日数の推移



BS基準 陸送& 商談 整備& 手続き オークション 仕入 買取仕入 成約 M車 商品として並ぶ期間

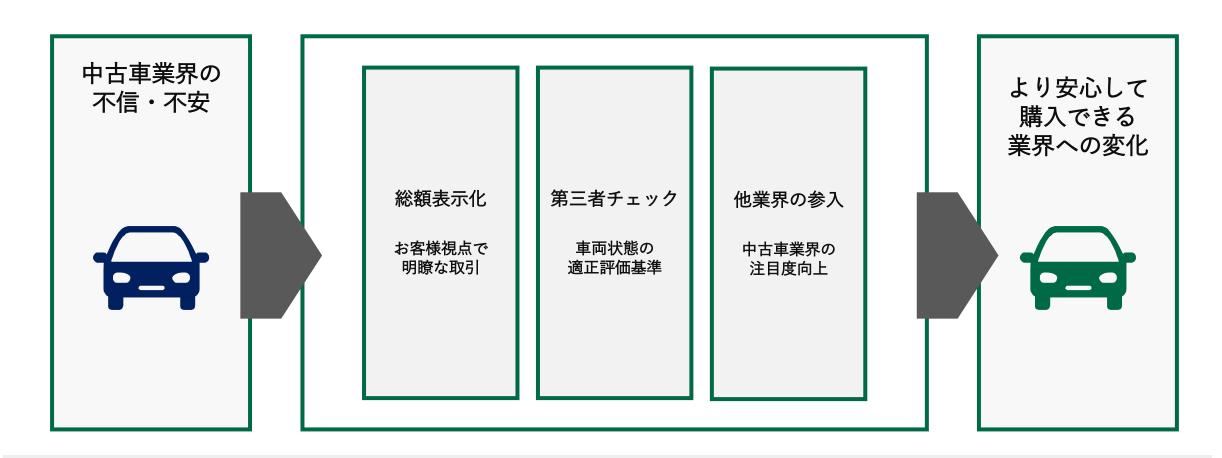
(日)

単体 在庫回転日数	2024	2025	2026 Q2
BS基準	86.8	87.0	87.6

- BS基準在庫は納車待ち在 庫増により横這い
- 上期は8店舗出店したが、 出店に対して在庫量をコントロールすることで在 庫回転日数の増加を前期 末並みに抑制。

#### IDOMの取組み

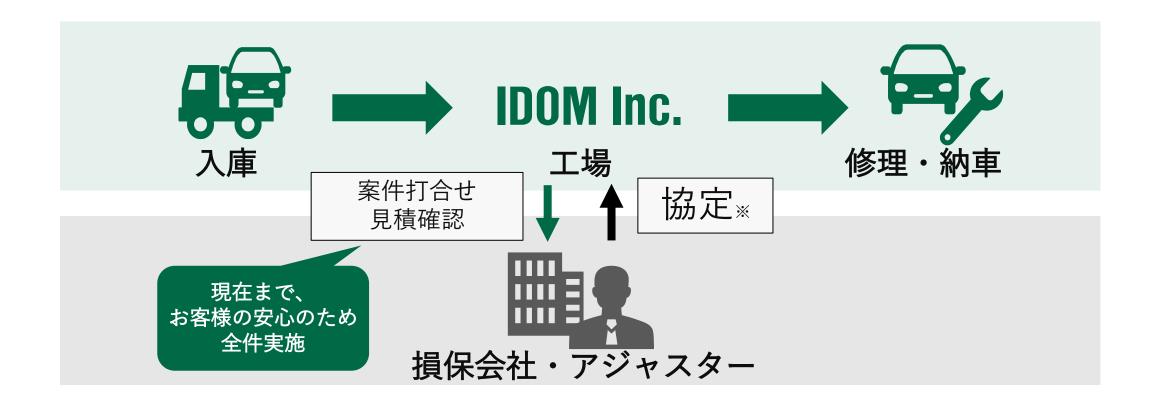




2024年2月期は、保険金の不正請求問題など中古車業界への信頼感が低下。 業界のリーディングカンパニーとして中古車業界の透明性を強化しお客様への信頼を回復。

# 板金工場ガバナンスへの取組みに関して:事故対応 Gulliver





送客された全ての案件で損害保険会社のアジャスターと修理見積に関して協定し、 妥当性のある修理金額を設定。

## 工場の透明性の確保に関して









各工場にカメラを設置。

お客様がカメラを通して作業を見ることで透明性を確保。「お客様の安心」と「従業員の適正な作業の証明」を担保。

### 整備工場と板金工場について



#### 整備工場





#### 板金工場





作業範囲

ボディだけでなく、エンジンやブレーキ、電 気系統などの車両内部が主な範囲

ボディやフレームなど外部の修復が専門

利用目的

- ・定期的な法定点検、車検
- ・車両が故障した時

必要資格

整備士は国家資格が必要 (一級、二級、三級、特殊整備士) ※二級資格を有することで整備範囲が広がる

- ・事故などで車体が損傷した時
- ・車体の塗装剥がれや、錆が発生した時
- ・車体のカスタマイズなどをしたい時
- ・保険会社からの紹介

資格は必須ではないが、技術や経験が必要

## Gulliverブランド



買取店

じしゃロン店

中型店

大型店

店舗 フォー マット

店舗数※



170店舗

特徵 買取専門店



50店舗

割賦販売専門店



133店舗

顧客ニーズに合わせた 専門店



77店舗

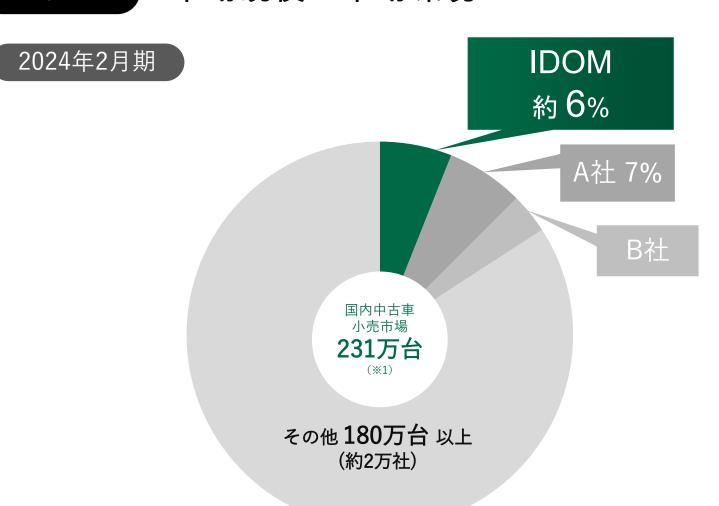
地域最大級の圧倒的な 品揃え

30年間お客様に寄り添ってきた買取のガリバーブランドが集客力となり大型店事業が成長拡大

市場

## 市場規模と市場環境





## 日本の中古車市場

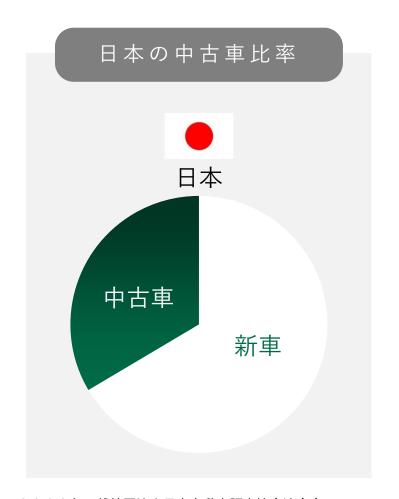
日本の中古車市場は大手3社 合わせて20%未満であり、い まだ非寡占化市場。

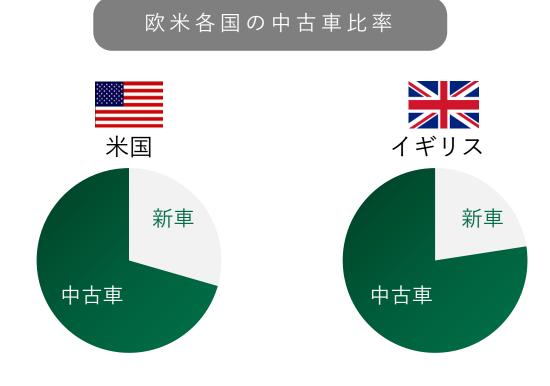
大型店を展開し、その他が持つ180万台の市場からシェアを獲得。

※1:2024年2月期の市場シェアは、2022年の中古車小売市場規模231万台(矢野経済研究所調べ)に占める当社とA社の国内小売台数の内訳を算出。

# 欧米各国に比べ著しく低い日本の中古車市場







※1:新車:2019年一般社団法人日本自動車販売協会連合会 ※3:2019年英国自動車製造販売協会(SMMT)車両データ 中古車:矢野経済研究所 2020年版 中古車流通総覧

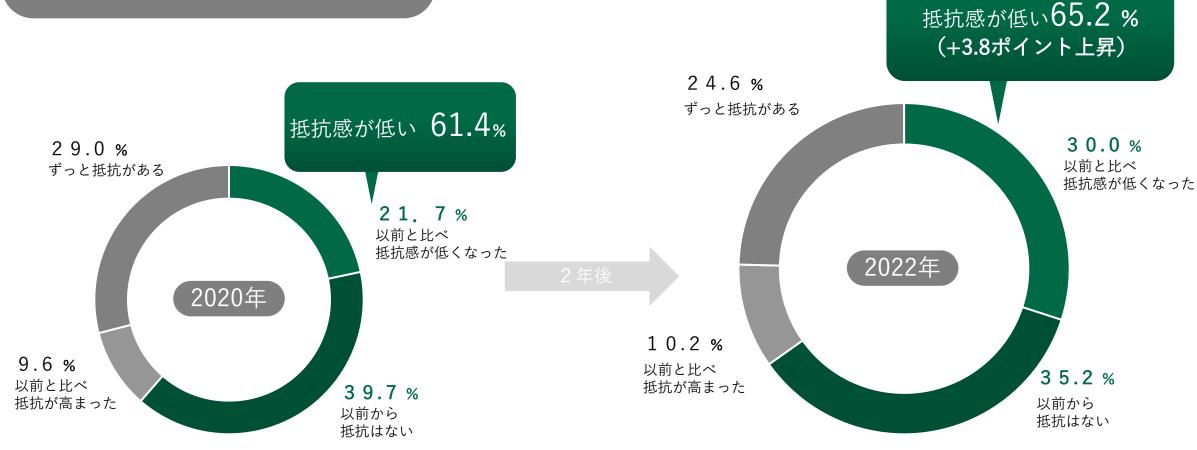
※2:新車:2019年マークラインズ 自動車産業ポータル

中古車: edmunds 2019 Used Vehicle Report

## 中古車に関する抵抗意識の変化



以前(10年~数年前)と比較して中古車への抵抗感はあるか?



2020年12月Webアンケートの実施結果(対象1000人)

2022年3月Webアンケートの実施結果(対象1000人)

### DEALWATCH AWARDS 2024 受賞



ロンドン証券取引所グループの「DealWatch」が主催するDEALWATCH AWARDS 2024の 社債部門において「Debut Debt Deal of the Year」を受賞

#### 受賞理由

社債市場に中古車販売業という新業態で登場。同業他社で起きた不正問題に対してネガティブな印象が払しょくできていなかったが、丁寧なIR、魅力のある水準で投資家の関心を引き付け、大幅な超過需要を創出したと評価。





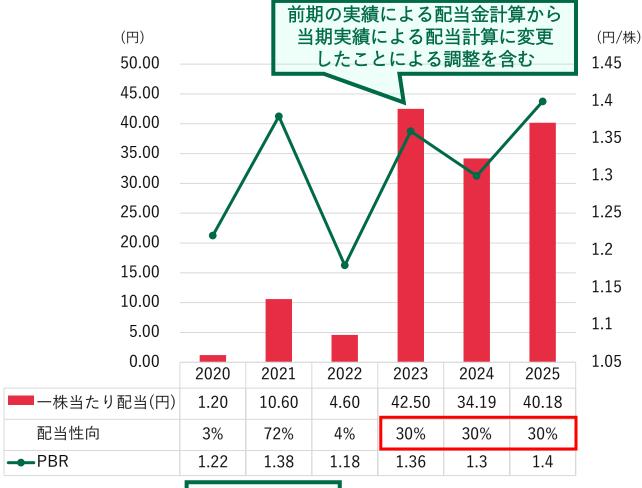


DEALWATCH AWARDS は、日本関連の資本市場の育成・拡大に資することを目的に、1995年に設置され、発行市場における適正なプライシング、流通市場に移行した後の価格形成、資本市場の発展への貢献や創意工夫などを考慮し選定されています。

2024年度は、「総合」 「社債」 「地方債」 「クロスボーダー債」 「サステナブル・ファイナンス」 「株式」の計6部門で構成され、引受証券会社や機関投資家が推薦した候補を、DealWatch 編集部が最終評価し、受賞案件及び受賞者を決定しています。

## 配当及び自己株取得等の政策について



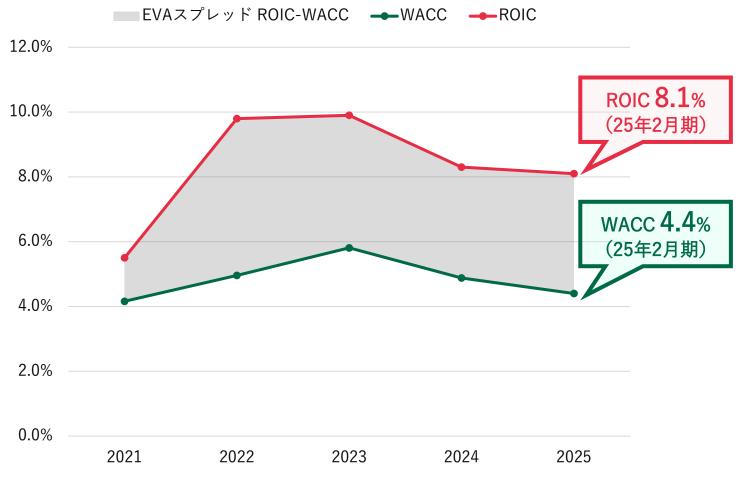


自社株取得実施(2020年4月)

- 現在の配当方針「当期の 連結純利益の30%を当期 の配当とする」を継続。
- 自己株式取得については、 PBRが1倍に近づいた際に 検討を予定。
- まずは成長投資を優先し、 利益を上げる事で企業価 値を高めていく。

### 資本コストの認識について





- 借入金の増加により WACCは4.4%に減少。
- ROICは売掛金を算式に追加して再算出。
- EVAスプレッドは前期 3.4%から3.7%に改善。

※ROIC:税引き後営業利益/((期首在庫+期首固定資産+期首売掛金+期末在庫+期末固定資産+期末売掛金)/2)

※WACC:株主資本コスト(リスクフリーレート+( $\beta$ ×市場リスクプレミアム)+(流動性 $\beta$ ×流動性リスクプレミアム))×株主資本比率+税引き前有利子負債コープ・

スト×有利子負債比率

※「2025」表記は、2025年2月期を示す。

## 健康経営への取組み



新たに生まれる業界の課題を解決していくには、更なるイノベーションの創出が求められるため、 健康経営の推進により、社員が心身ともに健康で安心して挑める環境を整備してパフォーマンスの最大化を実現します。

#### 健康経営推進体制と責任領域

代表取締役を責任者とし、健康経営推進室が中心となって各部と連携しながら健康経営を推進しています。 従業員の心身の健康維持・増進とヘルスリテラシーの向上を実現するための組織体制により、 健康経営推進の仕組み構築や運用を行っています。





4. APPENDIX(業績・財務の補足情報)

## [連結・単体]損益計算書(第2四半期累計)



第2四半期累計(連結)	2023年 第2四 <del>-</del>		2024年 2月期 第2四半期		2025年 2月期 第2四半期		2026年 2月期 第2四半期			
	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	前期比 (%)
売上高	225,478	100.0	203,696	100.0	249,651	100.0	273,107	100.0	23,456	9.4
売上原価	187,209	83.0	168,792	82.9	205,350	82.3	228,274	83.6	22,924	11.2
売上総利益	38,269	17.0	34,903	17.1	44,300	17.7	44,832	16.4	532	1.2
販売費及び一般管理費	29,653	13.2	27,805	13.7	34,217	13.7	36,338	13.3	2,121	6.2
営業利益	8,616	3.8	7,098	3.5	10,083	4.0	8,493	3.1	△1,590	$\triangle$ 15.8
経常利益	8,281	3.7	6,918	3.4	9,603	3.8	7,755	2.8	△1,848	△19.2
税金等調整前四半期純利益	9,181	4.1	6,853	3.4	9,530	3.8	7,554	2.8	△1,976	△20.7
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,516	3.3	4,823	2.4	6,485	2.6	5,163	1.9	△1,322	△20.4

第2四半期累計(単体)	2023年 第2四 <del>-</del>		2024年 第2四		2025年 2月期 第2四半期		2026年 2月期 第2四半期			
	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	前期比 (%)
売上高	178,303	100.0	200,597	100.0	245,381	100.0	265,594	100.0	20,213	8.2
売上原価	147,944	83.0	166,737	83.1	202,402	82.5	223,429	84.1	21,027	10.4
売上総利益	30,359	17.0	33,859	16.9	42,978	17.5	42,165	15.9	△813	△1.9
販売費及び一般管理費	23,601	13.2	26,637	13.3	32,475	13.2	34,058	12.8	1,583	4.9
営業利益	6,757	3.8	7,222	3.6	10,503	4.3	8,106	3.1	△2,397	△22.8
経常利益	6,560	3.7	7,015	3.5	10,004	4.1	7,375	2.8	△2,629	△26.3
税引前四半期純利益	9,537	5.3	6,951	3.5	10,046	4.1	7,183	2.7	△2,863	△28.4
四半期純利益	8,575	4.8	4,871	2.4	6,873	2.8	4,940	1.9	△1,933	△28.1

# [連結・単体]損益計算書



通期(連結)	2023年	2月期	2024年	2月期	2025年	2月期	2026年 2月期			
	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	予想 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	前期比 (%)
売上高	416,514	100.0	419,852	100.0	496,678	100.0	546,800	100.0	52,122	10.1
売上原価	341,964	82.1	346,519	82.5	408,002	82.1	451,700	82.6	43,698	10.7
売上総利益	74,549	17.9	73,333	17.5	88,675	17.9	95,100	17.4	6,425	7.2
販売費及び一般管理費	55,865	13.4	57,216	13.6	68,785	13.8	75,000	13.7	6,215	9.0
営業利益	18,684	4.5	16,117	3.8	19,890	4.0	20,100	3.7	210	1.1
経常利益	18,146	4.4	15,826	3.8	19,115	3.8	18,900	3.5	△215	△1.1
税金等調整前当期純利益	18,752	4.5	15,664	3.7	18,576	3.7	18,200	3.3	△376	△2.0
親会社株主に帰属する当期純利益	14,205	3.4	11,442	2.7	13,447	2.7	12,500	2.3	△947	△7.0

通期(個別)	2023年	2月期	2024年	2月期	月期 2025年 2月期		2026年 2月期			
	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	予想 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	前期比 (%)
売上高	366,069	100.0	413,206	100.0	486,843	100.0	531,800	100.0	44,957	9.2
売上原価	301,226	82.3	342,143	82.8	401,991	82.6	442,000	83.1	40,009	10.0
売上総利益	64,842	17.7	71,062	17.2	84,852	17.4	89,800	16.9	4,948	5.8
販売費及び一般管理費	48,430	13.2	54,333	13.1	64,710	13.3	70,400	13.2	5,690	8.8
営業利益	16,412	4.5	16,729	4.0	20,142	4.1	19,400	3.6	△742	△3.7
経常利益	15,998	4.4	16,404	4.0	19,374	4.0	18,100	3.4	△1,274	△6.6
税引前当期純利益	23,709	6.5	16,239	3.9	19,021	3.9	17,400	3.3	△1,621	△8.5
当期純利益	20,020	5.5	11,864	2.9	13,945	2.9	12,000	2.3	△1,945	△13.9

# [連結]貸借対照表



	前期連結会計年度末	当連結会計年度末
V2 + 0 + 12	(2025年2月28日)	(2025年8月31日)
資産の部		
流動資産	45.440	22.222
現金及び預金	15,416	28,023
受取手形及び売掛金	26,989	32,472
商品	114,588	109,589
その他の営業資産	1,891	3,990
その他	6,619	7,704
貸倒引当金	△1,147	△1,557
流動資産合計	164,358	180,222
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	53,693	57,624
減価償却累計額	△20,450	△21,542
建物及び構築物(純額)	33,243	36,081
車両運搬具	2,220	5,666
減価償却累計額	△450	△537
車両運搬具(純額)	1,769	5,129
工具、器具及び備品	6,795	7,300
減価償却累計額	△4,216	△4,474
工具、器具及び備品(純額)	2,578	2,825
土地	136	136
建設仮勘定	791	1,886
その他	630	540
有形固定資産合計	39,149	46,600
無形固定資産		
ソフトウェア	1,194	1,772
のれん	70	66
その他	2	2
無形固定資産合計	1,267	1,841
投資その他の資産		
関係会社株式	29	29
長期貸付金	1,789	1,829
敷金及び保証金	6,362	6,708
建設協力金	3,636	2,871
繰延税金資産	2,986	3,016
その他	463	464
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	15,265	14,918
固定資産合計	55,682	63,359
資産合計	220,041	243,581

		(単位:百万円)
	前期連結会計年度末 (2025年2月28日)	当連結会計年度末 (2025年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,379	9,130
短期借入金	9,577	1,928
1年内返済予定の長期借入金	6,550	16,700
未払金	4,552	4,707
未払法人税等	3,337	2.617
契約負債	34,786	32,995
預り金	254	269
賞与引当金	1,064	1,331
その他	3,886	6,951
流動負債合計	70,389	76,632
固定負債		
社債	3,000	3,000
長期借入金	60,150	70,000
長期預り保証金	766	803
資産除去債務	3,594	3,976
その他	1,307	4,719
固定負債合計	68,818	82,500
負債合計	139,208	159,132
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,157	4,157
資本剰余金	5,510	5,756
利益剰余金	73,608	76,684
自己株式	△4,344	△4,344
株主資本合計	78,931	82,252
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	491	374
その他の包括利益累計額合計	491	374
新株予約券	14	17
非支配株主持分	1,394	1,804
純資産合計	80,832	84,449
負債純資産合計	220,041	243,581

## [連結]キャッシュ・フロー計算書



(単位:百万円)

	2025年2月期 第2四半期	2026年2月期 第2四半期
税金等調整前四半期純利益	9,530	7,554
減価償却費	2,409	1,881
のれん償却額	3	3
運転資本増減	△13,133	△1,602
法人税等の支払額	△1,761	△2,958
その他	△2,780	2,895
営業活動によるキャッシュ・フロー	△5,731	7,773
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,438	△5,785
フリー・キャッシュ・フロー	△9,169	1,987
財務活動によるキャッシュ・フロー	△803	10,658
換算差額・新規連結に伴う増減額	37	△39
現金及び現金同等物の増減額	△9,935	12,606
現金及び現金同等物の期首残高	19,139	15,416
現金及び現金同等物の期末残高	20,612	28,023

※当社では第1四半期及び第3四半期の要約キャッシュ・フロー計算書を任意開示しております。

# 各種KPI (四半期データ)



KPI		2024年	2月期			2026年	2月期			
KFI	Q1	Q2累計	Q3累計	Q4累計	Q1	Q2累計	Q3累計	Q4累計	Q1	Q2累計
買取台数(台)	42,980	78,819	120,023	162,630	48,306	93,307	139,681	183,781	48,949	91,010
YoY	-2.0%	-2.9%	-4.1%	-1.8%	12.4%	18.4%	16.4%	13.0%	1.3%	-2.5%
直営店販売台数(台)	73,584	135,909	201,936	268,844	81,988	152,584	227,464	293,163	83,714	158,941
YoY	10.6%	8.3%	6.9%	8.7%	11.4%	12.3%	12.6%	9.0%	2.1%	4.2%
小売台数(台)	39,266	73,777	106,483	144,487	38,842	75,917	113,519	149,003	43,840	84,190
YoY	4.6%	5.1%	3.4%	6.6%	-1.1%	2.9%	6.6%	3.1%	12.9%	10.9%
卸売台数(台)	34,318	62,132	95,453	124,357	43,146	76,667	113,945	144,160	39,874	74,767
YoY	18.4%	12.4%	11.1%	11.2%	25.7%	23.4%	19.4%	15.9%	-7.6%	-2.5%
個別社員数(人)	3,243	3,204	3,218	3,356	3,861	3,906	3,852	3,816	4,202	4,076